

〇●〇 いちはら感染症情報 (2019-7 臨時号3) 麻しんアラート 〇●〇

市原保健所管内で麻しん患者が2例発生しました。
麻しん患者と接触した予防接種未接種者が発症する時期です！

◆麻しんワクチン未接種、麻しん未罹患の人が今回の麻しん患者と接触した場合、今日あたりからカタル症状が出現し“風邪”等の訴えで医療機関を受診することが予想されます。今週インフルエンザ感染を疑い検査が陰性の場合には麻しん感染の可能性を念頭において、海外渡航歴や2週間以内に海外渡航した家族、職場の同僚、知人等がいないかどうか(2次感染)問診をお願いいたします。

現在確認されている麻しん感染はフィリピン、モルディブ、タイ、ベトナム等への海外渡航歴のある人から多く発症しています。

診療所勤務の受付事務の職員、看護師等について麻しん予防接種2回接種歴の確認をお願いいたします。罹患がなく、予防接種歴のない人は抗体価の検査や予防接種を検討することが推奨されます。関西の病院では受付含めた職員が発症しています。

◆【県内の発生状況(麻しんの届出数)】

	H27	H28	H29	H30	H31*
千葉県	0	25	3	26	4
全国	35	165	189	282	148

※平成31年の千葉県分は2月18日現在、全国分は2月6日現在

◆【麻しんを疑う場合の病院・診療所での対応について】

麻しんのウイルスは2時間程度浮遊するといわれています。

発熱・発しん・カタル症状等、麻しんが疑われる患者が受診・事前に連絡があった場合には、待合及び診察を別室で対応する、診療時間終了後に対応する等の感染拡大防止について、ご配慮くださるようお願いいたします。